

2200



陸栗毛の中で、弥次 27年3月を以て惜しま 宿、多くの遺跡が残さ 喜多が狐に化かされた れながら閉鎖した。 れているが、近年、むら 話でも知られている。 赤坂宿からさらに西 さき麦の里」として知 途中に茶店もあるの 方に位置するのが藤川 られるようになった。

## 御油宿から藤川宿へ

紺屋麦とも呼ばれる美 しい麦で、一時途絶え ていたものを、平成6 年に地元の人たちの努 力によって復活した。

十王堂脇には(ここ) も三河むらさき麦のか きつばた」と詠んだ芭 蕉句碑がある。

数年前には道の駅も 出来、訪れる人も多く なった。麦畑を渡る風 を感じながら、むらさ き麦を練り込んだきし めんに舌鼓を打つこと も楽しみの一つだ。

(下里美恵子)

▽交通 名鉄本線御 油駅及び藤川駅下車。

問合せ 御油の松並木 資料館、電話0533

(87)7214。岡崎市

東部地域交流センタ

電話0564(66)30

66

東海道五十三次のうち、35番目から37番目の御油宿から藤川宿まで10キロ余の道程は、随所に往時の面影が残る私の好きな吟行地である。

御油宿は東海道と姫街道の追分地点として賑わい、多くの飯盛女が働いていたという。東林寺には辛さに耐えかねて身投げした、5人の女たちの墓がある。町並を抜けて赤坂宿まで続く6000m程の松並木は『東海道中

## 愛知



旧東海道の面影を残す御油の松並木

で、ちょっと一服出来るのが嬉しい。松並木を抜けると赤坂宿。御油・赤坂間は2キロ足らずと、東海道の宿場の中で最も短い。関川神社にある芭蕉句碑(夏の月御油より出でて赤坂や)は、その距離を詠んだものだという。また芭蕉も泊まったと伝えられる旅籠・大橋屋も現存し営業していたが、平成